**仁心看護専門学校　2021年度　学校関係者評価会議報告書**

日時：令和4年6月15日　15時～

場所：仁心看護専門学校　会議室

教職員及び事務

　吉牟田　直孝　仁心看護専門学校　校長

　鈴木　敏子　　仁心看護専門学校　副校長

　冨吉　良子　　仁心看護専門学校　教務主任

　上原　啓介　　仁心看護専門学校　事務長

出席委員

　山根　朱美　　オレンジ学園　看護部長

　税所　惠津子　松下病院　総看護師長

　徳永　美代子　たちばな医療専門学校　副校長

　松下　兼綱　　たちばな医療専門学校　事務長

 庄田　成伸　　南九州病院　看護師　第1期卒業生

欠席委員

　松下　京子　　福山病院　総看護師長

　本村　由実　　後援会会長

**総　括**

自己点検・自己評価の結果、４年間の大項目を比較すると前年度より全体的に良い評価である。

大項目のⅠ～Ⅲについては年度別での評価に大差はない。これは教育理念に始まり教授・学習・評価過程までの一連の教育課程運営において整合性があることが評価される。

昨年度も新型コロナ感染症のまん延の中、自宅待機や実習は中止が発生したが、オンライン授業や代替授業で学習時間を確保することができました。学生の実習目標達成のためシミュレーションモデルの導入を図り、アセスメント力の向上につとめた。自宅待機や講義形態の変化への対応、学生の生活行動上の指導等をはかり、教員・学生共に目標達成に向け日々努力した年であった。3年生の実習は約7割以上を臨地で実習できたことは幸いである。

また、入学Ⅳの項目については、一昨年度の入学者24名の影響で大幅に評価が下がっている。対策として昨年度から別試験会場の設定、別地域（沖縄県の学生募集の強化等）に努めている。結果が早急に出ていないが、指定校の追加等対策を継続していくことを報告した。

これらの結果、看護師養成所として資格取得を支援できたことは大きいが、よりコロナ禍の新たな養成所の運営方法を確立していくことが課題や人口低下の中効果ある学生募集に努めることを検討課題である。